

1 2	生活文化スポーツ局	総合的な競技力向上方策の推進
事業概要	<p>東京国体における総合優勝とオリンピックにおける東京都選手の一層の活躍を目指し、東京アスリートの競技力向上を図るため、「東京都競技力向上基本方針・実施計画」（平成20年3月策定）に基づき、選手強化体制の整備、指導者の確保・育成、医・科学サポートによる支援の3つの柱により、東京アスリートを総合的に支援する。</p> <p>なお、JOC等スポーツ関係の有識者、財団法人東京都体育協会や学校体育連盟等により構成される「東京都競技力向上推進本部」及びその下に設置した強化部会、指導者部会、医・科学部会を開催し、事業の進行状況確認や検証を行うとともに、次年度事業の計画について検討する。</p>	
これまでの経過	<p>1 東京都競技力向上推進本部 平成20年度の事業進捗状況について、各部会や本部会議で報告し、課題を確認するとともに、助言をもとに、平成21年度の事業実施に向けて準備を行った。</p> <p>(1) 前期 ア 医・科学部会ワーキンググループを3回開催 (平成20年6月24日、7月1日、15日) イ 第1回強化部会、指導者部会、医・科学部会を開催 (平成20年7月29日、31日) ウ 第4回(本年度第1回)東京都競技力向上推進本部会議を開催 (平成20年9月5日)</p> <p>(2) 後期 ア 医・科学部会ワーキンググループを3回開催 (平成20年12月3日、平成21年1月7日、26日) イ 強化部会ワーキンググループを3回開催 (平成20年11月17日、12月16日、平成21年1月20日) ウ 平成20年度第2回強化部会、指導者部会、医・科学部会を開催 (平成21年2月12日、13日) エ 第5回(本年度第2回)東京都競技力向上推進本部会議を開催 (平成21年3月26日)</p> <p>2 選手強化体制の整備 (1)平成20年9月20日に平成20年度東京都ジュニア強化選手認定式を実施し、1,115名をジュニア強化選手として認定した。 (2)ジュニア特別強化事業(競技団体が国体で活躍が期待できる小中高生を対象に強化練習、強化合宿等を行う。)の対象を、20競技から国体全40競技に拡大し実施した。 (3)ジュニアスポーツの普及とジュニア選手の育成を推進するため、ジュニア育成地域推進事業(区市町村の体育協会等と連携して実施)の予算を拡充し、競技種目の数や参加人数を拡大し実施した。 (4)国体候補選手強化事業(競技団体が国体候補選手に対して強化練習、強化合宿等を行う。)の予算を拡充して実施した。 (5)強化部会ワーキンググループを3回開催し、平成21年度より実施するジュニアからのタレント発掘事業のための仕組みを構築した。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">これまでの経過</p>	<p>(6) 都内の強豪高校の国体参加のモチベーションを高め、部活動の選手強化を支援していくため、平成 21 年度より開始する「強化校」の指定に向けて、東京都高等学校体育連盟等と調整を行い、来年度の事業内容を構築した。</p> <p>3 指導者の確保・育成</p> <p>(1) 国体 40 競技中、36 競技 294 名の東京都国体選手強化指導員を認定した。</p> <p>(2) 競技団体が実施する強化練習、強化合宿等に一流の指導者を招聘できるよう、指導者への謝金限度額を平成 20 年度から 5 千円から 6 万円に増額した。</p> <p>(3) 優秀なトレーナー、スポーツドクター等を登録する人材バンクを構築した。(登録人数 43 名)</p> <p>(4) 一貫指導システムの構築推進のため、競技力向上指導者研修会を 3 回実施した。</p> <p>4 医・科学サポートによる支援</p> <p>(1) 平成 20 年度から、国体候補選手のメディカルチェックの対象を関東ブロック大会参加選手に拡大するとともに、時期を前倒して実施した。</p> <p>(2) 医師やトレーナー等の人材登録を進め、競技団体が行う強化活動へ派遣を開始した。(派遣回数 19 回)</p> <p>(3) 医・科学部会ワーキンググループを 6 回開催し、大学等と連携した医・科学サポートモデル事業の仕組みづくりを検討した。</p> <p>(4) ジュニア選手、指導者、保護者を対象に、ドーピング防止研修を実施した。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在の進行状況</p>	<p>第 5 回競技力向上推進本部会議の結果を受け、以下の事業等の平成 21 年度実施に向けて、スケジュールの調整や準備作業を行っている。</p> <p>(1) 強化部会ワーキンググループ（タレント発掘・育成）の開催</p> <p>(2) 東京都ジュニア強化選手、東京都国体選手強化指導員の認定</p> <p>(3) 大学と連携した医・科学サポートモデル事業の実施</p> <p>(4) 強化校指定事業の実施 等</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の見通し</p>	<p>1 東京都競技力向上推進本部 平成 21 年度の事業進捗状況について、各部会や本部会議で報告し、課題を確認するとともに、助言をもとに、平成 22 年度の事業実施に向けて準備を行っていく。</p> <p>2 選手強化体制の整備 ジュニアからのタレント発掘事業、強化校の指定事業を平成 21 年度から実施するとともに、ジュニア強化選手の認定、ジュニア特別強化事業、ジュニア地域推進事業、国体候補選手強化事業を平成 20 年度に引き続き実施していく。</p> <p>3 指導者の確保・育成 国体強化指導員の認定事業、人材バンクの登録・派遣事業を平成 20 年度に引き続き実施していく。</p> <p>4 医・科学サポートによる支援 3 大学と連携した医・科学サポートモデル事業を平成 21 年度から実施するとともに、国体候補選手のメディカルチェック、医師等の強化活動への派遣事業、ドーピング防止研修等を平成 20 年度に引き続き実施していく。</p>	
<p>問い合わせ先</p>	<p>生活文化スポーツ局 スポーツ振興部 スポーツ事業課</p>	<p>電話 03-5320-7715</p>